

人権擁護委員が新任・再任されました



船引町 橋本道春さん(新任) 船引町 佐藤重孝さん(再任) 常葉町 志田鍊爾さん(再任) 常葉町 石井正夫さん(再任) 船引町 白石恵美子さん(再任)



人権擁護委員の委嘱状伝達式が10月17日、市役所で行われました。福島地方法務局の進藤郡山支局長が、新任者の橋本道春さんに委嘱状を手渡し、「人権に対する正しい思想の普及に努めてほしい」とあいさつしました。富塚市長が同席し、委員を激励しました。

各委員の任期は10月1日から3年間です。

今回、渡邊ミキさん(船引町、在職9年)が任期満了で退任され、感謝状が手渡されました。(写真左)

大越町文化祭を開催



10月25と26日の2日間、大越体育館で「育てよう、豊かな心と文化の心」をテーマに、文化団体や小・中学校生の作品が展示され、陶芸・茶道の体験コーナー、民俗芸能発表会、青年団員による餅つきが行われました。

また、10月4日から11月3日までの期間中には「文化財めぐり」「民話まつり」「歴史講演会」「ダンスパーティー」などの多彩な文化祭行事が行われました。

高級感のある汁椀と手鏡



都路公民館高齢者学級の福寿草大学が10月3日、物づくり移動教室を行いました。

漆塗りの汁椀と手鏡から自分好みのものを選び、小筆でのり状の液体を付け、きらきら輝く粉を落として、乾いたらゆっくりと丁寧に拭き取りました。自分の思う通りにできた人や少し不満足気な人などさまざまでしたが、全員が完成した自分の作品を感慨深く眺めていました。

楽しみながら健康に



常葉公民館主催のスポーツ吹矢教室が10月31日から毎週金曜日、4回にわたり文化の館ときわで行われました。

初めに胸式と腹式呼吸を組み合わせた呼吸法を学び、離れた円形的的めがけて息を使って矢を放ちました。矢が的に当たると参加した受講生の顔には思わず笑みがこぼれ、呼吸だけで体が温まることに感動していました。

紅葉の運動場を駆け回る



第38回田村市ビートル駅伝大会が11月3日、小学生の部31チームと中学生の部9チーム、高校・一般の部18チームの計58チーム参加で行われました。

小学生の部が午前10時、中・高一般の部が11時30分に常葉公民館脇をスタート。選手は8区間でタスキをつないでゴールを目指し、秋の常葉路を全力で疾走しました。

●小学生の部1位…ふくしま陸上スポーツ少年団A、中学生の部1位…YOHPEI
高校生・一般の部1位…ギャランドゥー、総合優勝…ギャランドゥー(写真右)

都路町文化祭を開催

古道体育館では震災後初となる文化祭が11月1日から3日まで、都路町文化祭実行委員会主催で開催されました。

テーマは「ぬくもりとやすらぎの都路。今、芸術文化活動の復活!」。

会場には出展者426人、出品数1,019点と昨年度を250点ほど上回る見事な作品が体育館内外に飾られ、期間中、多くの来場者が足を止めて見入っていました。



和の雰囲気を生かす作品



文化の館ときわで10月1日、グレイス粘土教室が開かれました。

常葉町の白岩美智江さんの指導で、乾くと陶器のように透明感があって硬く、丈夫になる粘土を使って花入れを作りました。参加者は土台となる花瓶の箱に細くひも状に伸ばした粘土を巻きつけ、丁寧に作業しました。完成した作品は満足いく仕上がりで、全員が笑顔を見せていました。

スポーツに触れ合う



障害者スポーツ教室並びにスポーツ大会が10月18日、市総合体育館サブアリーナで開かれ、約80人が参加しました。

パラリンピックの公式種目のポッチャやフライングディスクなど、参加者は講師の熱心な指導のもと一生懸命取り組みました。※ポッチャとは、白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競うスポーツです。